

イチオシ「全日本大会」
2004年3月28日
山口県秋吉台にて

山口は燃えている

山口県協会
福田

いよいよ春シーズン到来。
カルストの迷宮・山口県秋吉台では全日本大会に向けて急ピッチで準備が進められている。そして用意されるのはとっておきのトレイン。

トレインが焼かれる季節

今の秋吉台、日中は穏やかですが、朝夕は冷たい風が吹きはじめ、段々と冬の装いに変っています。まもなく、降りしきる雪に草原の草は押し倒され、白一色の景色に変わってしまうでしょう。

恒例の「山焼き」は、2月15日9時30分に火入れの予定です。そして「夜の野焼き」は3月6日19時に火入れの予定です。中央部の若草山を中心に周辺の5ヘクタールで実施されます。春の風物詩として、毎年TVニュースで取り上げられることが多いです。

競技担当者はこれから勝負です。山焼きによって激しく変化する植生状況、これと地図を照合する最終確認、そして試走と忙しい日々です。

実行委員会も山焼き

この貴重な山焼き維持する為、私共「山口全日本実行委員会のメンバー」は地元と協力して、山焼き行事を支援します。昨年は天候不順で何度も繰り返し延期となりましたが、今年はすんなりお願いしたいものです。

カルスト高原「秋吉台」は、今から650年前まで針葉樹の原始林だったそうです。その後稲作を覚え、狩猟民族から農耕民族に変わった私達の祖先は牛や馬の飼料として、また田畑の有機質肥料として草が必要となり、火の不始末や自然発火による山火事や焼畑でこの地を採草地に創り上げました。そして約1500万ヘクタール、日本一の草原となりました。

しかしながら時代の流れとともに、農業や生活様式の変化などにより山焼きの意義も変わってきています。地域住民の生活の中で、秋吉台との繋がりが徐々に薄れて行きつつあり、この日本一の山焼きを行うこと自体が年毎に大変になっています。



毎年恒例！
秋吉台の山焼き

山焼きによって
素晴らしいトレインが
作られている

会場近くの駐車場を確保

広い秋吉台は駐車場の数も収容能力もたくさんありますが、とにかく範囲が広い。参加者の皆さんは、会場近くの便利な駐車場を使っていただくことを考えています。この便利な駐車場を希望する人には駐車券の発行を致します。

希望される方は、参加申込書の当日来場手段の項、自家用車運転に印を忘れずに記入ください。(有料1日500円) 申込を忘れると遠い駐車場にまわって戴くようになることがあります。多数の方が利用できるよう出来るだけ相乗りでお越し下さい。

また前日台上の宿舎に宿泊の方は、必ず宿舎に車を預け徒歩で会場までおいでくださるよう協力ください。

お母さん、託児所あります

全日本大会としては初の託児コーナーを開設しています。準備の都合があり、事前予約制としています。

希望される方は事前申込を行ってください。申込先、内容等は近日中に大会HPに公開します。

<http://www.c-able.ne.jp/%7Emimosa/>

フリマ開催

イベント会場の一角をフリーマーケットコーナーとして開放します。雨対策にテント内で机・椅子の用意があります。不要となったOLグッズ・大会での景品など自宅で眠っているものを持参して有効利用しませんか？

参加の条件：ここでの売上の一部をWOC2005またはJOA選手強化費として寄贈して頂きます。寄贈先、及びその金額は各自の裁量で決め大会本部実行委員会まで提出してください。

参加を希望される方は、事前に持参し販売したい内容、販売したい方の住所・氏名・連絡先等を大会実行委員会まで通知ください。

格安航空券で参加ラクテン

お勤め、関東地区から参加する人へのおススメは、JTBが提供する、参加者のための格安航空券利用です。(全日本大会の公式スポンサー)

春休み旅行シーズンのこの時期は航空各社の割引設定が見当たりません。今なら時間の設定は自由です。便利な宇部空港へは羽田からの便数も多く自由がききます。早い便できて観光を。また最終便には宿舎行きのバスの設定もあります。斡旋の宿はYHから、国民宿舎・ホテルまで、各種あり、申込者単位でご利用ができます。

西の京、「山口」湯田温泉からは大会当日会場直行のバスの便も。帰りも会場から直行バスが設定しています。

秋吉台上の宿舎はいずれも徒歩での参加が可能です。

前日は九州平尾台で

公式のトレコースではありませんが、全日本大会前日に近くでオリエンタリングイベントが開催されます。

北九州OLCが「平尾台」でトレーニングコースを開設します。

平尾台も秋吉台と同じカルスト台地上に広がる草原地帯。普段はあまり味わうことのないカルストの迷宮を、どっぴりと2日間楽しむことができますね。

(福田)